

第2回人口減少対策専門部会



平成29年7月5日(水) 広島市において、吉田部会長をはじめとする14名が出席し、第2回人口減少対策専門部会を開催した。部会開催にあたって、カルビー株式会社人事総務本部ダイバーシティ委員会委員長 新谷英子氏から、働き方改革・女性活躍に関する取り組みについてご紹介いただいた。

<先進事例紹介>

【カルビーが推進するダイバーシティ】



新谷 英子氏

女性の活躍なしにカルビーの成長はないという方針のもと、2010年に結成された「ダイバーシティ委員会」を中心に、多様性を活かす組織・風土づくりを進めてきた。女性だけでなく、

外国人・障がい者・シニア世代などの活躍支援も積極的に行い、あらゆる面からダイバーシティを成長力とする企業を目指している。

■「カルビー」社名の由来

1949年広島で創業。社名の由来はカルシウムの「カル」とビタミンB1のBを取ってカルビー。戦後間もない時代で栄養が不足する中、広島は瀬戸内海に面しておりエビがたくさん獲れた。カルシウムがたくさん入ったエビを使って健康に役立つことが出来ないか考えたのが「かっぱえびせん」。皆の健康を願って作られた会社である。

■ダイバーシティがはじまったきっかけ

2009年の松本 晃会長兼CEO就任がダイバーシティ推進のきっかけとなる。当時女性の管理職比率が5%に留まっていることを会長に伝えたところ「この会社は1世紀遅れている」との発言。女性の活躍なしにカルビーの将来はないという方針のもと、トップ自らダイバーシティ推進を行っていくことを宣言した。

2017年4月には女性管理職比率24.3%と

なっており、2020年までに30%とする目標に一歩一歩近づいている状況。

現在、社外取締役2名、上級執行役員1名、執行役員6名、工場長2名が女性で、広島地区の工場長も女性である。

■ダイバーシティ宣言

最初にダイバーシティ宣言「掘りだそう、多様性。育てよう、私とCalbee、互いの価値観を認め合い、最大限に活かし合う。多様性こそCalbee成長のチカラ。『ライフ』も『ワーク』もやめられない、とまらない」を作った。

女性という言葉に宣言に組み入れなかったのは、女性の支援を目指すのではなく、多様性を活かし多様な人が活躍することこそカルビー成長の力なのだということを一番に打ち出すため。

■ダイバーシティ推進に重要なこと

トップマネジメントの理解で9割が決まる。トップの支援で推進の度合いがまったく異なってくる。継続することが重要。合言葉は「Just Do It!」スピードを上げて取り組もうと思ったら早くやってみて、駄目ならやめて、また改善しながらやってみる。働き方改革もダイバーシティ推進も続けていくことが大切である。

事例紹介後、部会参加企業・団体における働き方改革について意見交換した。この中で広島県商工会議所連合会 会員部長 伊木剛二氏から「広島県働き方改革実践企業認定制度」の紹介があった。

(担当：中祖)